

佐藤先生からの注意事項

世田谷区民合唱団の皆様へ

音楽監督：坂本秀明

指揮者の佐藤宏充先生によるレッスンが一曲目から七曲目まで一巡しました。残り2回のレッスンを充実したものにするため佐藤先生の多くの御注意の中から特に重要と思われるポイントをまとめましたので御確認よろしくお願いいたします。

フォーレのレクイエムは全体的に静かなイメージがあるが、必ずしもそうではない。フォーレはベートーヴェンやワーグナーが大好きで、その影響を受けてこのレクイエムはダイナミクスレンジの幅が大きく作曲されている。そのため、かなりドラマチックに歌わなければならない。たとえ“P.”や、“PP.”を歌う場合でも芯のある声で歌ってください。との事でした。

1 曲目

- ・ P. 5 はゆっくりのテンポであるので、8分音符のキザミを身体で感じる事。
- ・ 語尾の子音は基本内側で切る。P. 5 は *sostenuto* (ひとつひとつの音を十分に保って) で歌うこと。9 小節目はまだフォルテで、10 小節目の4 拍目までフォルテで歌い、その後からディミヌエンドとなる。
- ・ p. 6 の Ten. の出だしの *Requiem* の *em* の音は第5音なので明るく歌うこと。以下すべての第5音を明るく歌ってください。
- ・ p. 7 の 38 小節の *is* は内切り。
- ・ p. 7 の 42 小節の Sop. の出だしの *Te* は天使の *Te* のイメージで、第5音なので明るく歌うこと。47 小節の3 拍目と4 拍目の間でブレス、48 小節目のブレスは無しになりました。
- ・ p. 8 の 63 小節目の *kyrie* の *e* は第5音なので明るく、*dolce espress.* (柔らかく表情豊かに) で歌ってください。
- ・ p. 10 の 89~91 小節の音は明るめに。(暗闇に灯った明かりのイメージで)

2 曲目

- ・ 皆さんのお持ちのオックスフォード版は最初の不完全小節をカウントしていません。ところがペーレンツァ版はこの小節をカウントしているので、小節数を1小節分プラスして書き変えてください。
- ・ 出だしの“0”は感嘆詞なので、感嘆して歌ってください。次の *Domine* の *D* は2つあると思って発音してください。次の *Christe* の“*i*”を長めにのばして歌ってください。出だしからブレスまでのフレーズをスラー(レガート)で歌います。以下、すべてのフレーズ毎にスラーをかけてください。
- ・ P. 13 の 25 小節目のクレシェンドはたくさんやってください。
- ・ P. 16 の 78 小節目の *Bas.* の出だしは感嘆詞ということを忘れないで。
- ・ P. 18 の 86 小節は下降音型ですが、音程まで下がらないように。
- ・ P. 19 の 95 小節目の *en* は内切りでお願いします。

3 曲目

- ・ Sop. の歌い出しの音は前奏でハミングしてからスタートすると音程が安定する。Sanctus の a の母音は口を縦に開けて発声すること。
- ・ P. 21 の 23 小節の Ten. の出だしは D-dur の第 5 音なので明るく高めに。
- ・ P. 22 の 26 小節は内切りで。
- ・ P. 22 の 30 小節の Sop. の音符は付点 2 分音符に変更。バトンを男声に渡す。34 小節の男声もギリギリまでのばして Sop. にバトンタッチ。
- ・ P. 23 の 43 小節から最後まではヴァチカン大聖堂の天井に描かれた天使達が飛んでいるイメージで。Hosanna の sa にアクセント。ここは感動ポイントです。

5 曲目

- ・ Ten. の出だしは第 5 音なので明るく。ブレスは直前ではなく準備を早めにとすると音程が安定する。
- ・ P. 29 の 21 小節のクレシェンドは 3 拍目で行うと効果的。
- ・ P. 29 の 33 小節目のブレスは無しになりました。そのかわり P. 30 の 34 小節目の tollis の後でブレスする。
- ・ P. 33 の 2 段目から 8 分音符のキザミを身体で感じることに。

6 曲目

- ・ P. 37 の 52 小節からの最後の審判のラッパから怒りのモードに突入、P. 38 からは、怒ってるような音色で歌うこと。
- ・ 6/4 拍子の 6 拍目を合わせるため、1 小節 6 回の手拍子で練習しました。その結果、縦にリズムが合いましたので、この感覚を忘れずに。
- ・ P. 39 の 70 小節目から 6 拍目のリズムが甘くなるので要注意。
- ・ P. 40 の 86 小節のクレシェンドは、身体の中の炎が燃え上がるように怒って歌ってください。(静かな怒りのほうが怒りのレベルが高い)
- ・ P. 41 の 92 小節の Liberame の be は第 5 音なので高めに。
- ・ P. 42 の 114~123 小節までずっとフォルテをキープして歌ってください。

7 曲目

- ・ Sop. の出だしは前奏でハミングをすると音程がはまる。
- ・ P. 45 の 21 小節アワタ外からの Jerusalem の表現は「絶対にとどかない憧れの街」という気持ちで心から歌ってください。
- ・ P. 46 の 30 小節はハミングで次の音(第 5 音)を感じることに。
- ・ 37 小節と 42 小節の Lazaro という固有名詞ははっきりとお客様に伝える。
- ・ p. 48 の 55 小節から最後まで和音は第 2 転回形なので、Bas. 1 と Alt. が主音なのでしっかりと支える、Ten. 1 と Bas. 2 は第 5 音なので明るく、Ten. 2 と Sop. は第 3 音なので控えめに。requiem の qui で音が下がらないように注意すること。

以上です。よろしくお願いいたします。